

公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団 2023年事業計画
(2023年4月1日～2024年3月31日)

【基本方針】

- ①コミュニティ財団としての資源仲介の目標を持って寄付資源を仲介する
- ②団体支援拠点「泉北ラボ」の安定化
- ③助成プログラムの強化
- ④事業指定寄付・遺贈寄付基金など発信強化

1. コレクティブインパクト推進事業

①団体支援拠点「泉北ラボ」の運営を通じたコーディネートを行う

下記機能を提供し団体支援拠点としての経営を安定化する

継続して取り組むこと

- ・会議室、レンタルスペース・コワーキングスペースの貸し出し
- ・アウトリーチ型子ども食堂運営団体(おかずBOX)へのシェアキッチン提供
- ・コーディネーターと連携

今年度注力すること

- ・泉北ラボの標準化を横展開するための視察料収入の確率と視察プログラム作成
- ・泉北ラボ実行委員会を通じた運営体制の設定
- ・運営コーディネーターの育成プログラムの開発
- 泉北ラボを利用する団体や相談者、寄附に関心のある市民への機能の充実
- ・アウトカム指標を整理するための日報の分析

スケジュール

月曜日～土曜日10:00～18:00 継続して社会実験を行う

※祝日・日曜日休日

短期アウトプット

年間利用者数 のべ 20,000 人(レジ通過者数・22年度1万6000人)

年間利用団体・活動 のべ 200 件(22年度125件)

短期アウトカム

団体支援拠点「泉北ラボ」の経営的な安定化

ニュータウンにおけるコミュニティビジネスと社会課題解決の視察が増えている

②泉北ラボ実行委員会を中心とした支援者と資源のコーディネートの実施

下記を実施する

今年度注力すること

- ・地域活動団体や支援組織としてのネットワーク会議のコーディネート

スケジュール

- ・高倉台西校区にて子育て地域円卓会議の開催(偶数月・年6回)
- ・クラウドサービスでの堺市南区と地域円卓会議の情報連携
- 4～7月 運営課題の洗い出し・データベース入力実施
- 8月～ データベースを通じた社会資源への接続

④事業評価の実施

今年度注力すること

- ・ニュータウンにおけるコミュニティビジネスと社会課題解決モデルとしての指標を定めら

れている

※定款に定める事業(1)(2)(3)(7)(9)

2. 助成プログラム事業

(1) 集める

① 泉北子ども未来基金

今年度注力すること

- ・未来基金への安定収入をめざす
- ・基金に寄附財源を増やすためのパンフレットを作成する
- ・地域誌・ケーブルテレビを通じた発信を行う
- ・泉北クラウドファンディングサイトの利用件数増加
地域活動団体ポータルサイト「コミュニティ基金」にてクラウドファンディングを行う

スケジュール

- ・4月 助成プログラム構築
- 5月 助成プログラム第1回公募
- 6月 助成プログラム第1回審査
- 7月 助成プログラム第1回実施
- 10月 助成プログラム第2回公募
- 11月 助成プログラム第2回審査
- 12月 助成プログラム第2回実施
- 2024年
- 2月 助成プログラム報告会(第1・2回分)

② 財団独自の事業指定寄付プログラムの実施

今年度注力すること

- ・本財団が調査や次の事業を生み出すための基金を設立する。
- ・持続可能な財団の事業運営をめざして、財団が調査研究できるための基金を設置する
- ・分野別・テーマ別事業指定寄付基金の検討を行う

③ 遺贈寄付基金の開設

今年度注力すること

- ・遺贈寄付の機運を高めるパンフレットの作成
- ・遺贈寄付の機運を高めるための取材記事の公開
- ・全国レガシーギフト協会と連携し基金に寄附財源を増やすための勉強会の開催
- ・遺贈寄付を開拓するための広告の実施

スケジュール

- ・4月 体制と事業計画書の構築
- 5月 年間計画に基づいて広報開始(フリーペーパー)
- 7月 遺贈寄付の勉強会(対 受贈団体)
- 9月 遺贈寄付の勉強会(対 市民)

④ 事業評価の実施

短期アウトプット

年間事業寄付 1000万・寄付者300名・組織

- 遺贈寄付のネットワークに土業などの専門家、受贈団体10名
- 短期アウトカム
 - 遺贈寄付の問い合わせが年5件増えている

(2) 分配する

① 泉北ニュータウンの孤立と地域をつなぐ助成の実施

- ・休眠預金等活用法に基づく資金分配団体として草の根事業支援の助成対象事業
- ・助成総額 1.53 億円 (2021 年度～2024 年度)
- ・実施時期 通年

今年度注力すること

- ・空き家・空き団地・空き室を拠点とし活用したコミュニティビジネスの伴走支援
- ・空き家・空き団地・空き室をソフト事業の活用モデルの情報発信
- ・空き家・空き団地・空き室をソフト事業の資金支援
- ・空き家・空き団地・空き室をソフト事業を通じた社会的インパクト評価の調査

② 泉北子ども未来基金助成の実施

- ・年2回の助成事業を公募、審査、助成金を交付する。
- 6月・12月に2回助成を実施する

今年度注力すること

- ・賛助会員の募集を通じた発信
- ・基金 PR をかねた情報発信視聴者の確保のための PR

③ 団体支援拠点「泉北ラボ」の運営を通じたコミュニティフリッジを行う

今年度注力すること

- ・コミュニティフリッジ(地域からの寄附を配分する冷蔵庫)の仲介・管理
- ・提供希望の登録者数を

④ おかず BOX の普及拡大支援

今年度注力すること

- ・おかずボックスの回数を増やし選択肢を増やせないか実験を行う
- ・泉北ラボコミュニティフリッジとの仕組みの連携
- ・おかずボックスの他地域への横展開

⑤ 事業評価の実施

短期アウトプット

- 年間事業寄付 1000万・寄付者300名・組織
- 助成原資 750 万円
- コミュニティフリッジ利用希望者 100 名

短期アウトカム

- 泉北のまちと暮らしを考える財団として、地域の新しい資金循環の中長期ビジョンを策定できている

※定款に定める事業(4)

3. 啓発事業

(1) コーディネート

① 遺贈寄附受付の相談事業の実施

スケジュール

- ・地域に寄附する市民を増やすための土業向け・市民向け勉強会を実施する
土業とのプロジェクトチームの発足(4月～)
 - ・遺贈寄附の相談機能強化のために、全国レガシーギフト協会との連携(4月～)
 - ・遺贈寄附の窓口を設置し遺贈寄附の文化を泉北ニュータウンに発信する
- 今年度注力すること

- ・いぞうの窓口の PR
- ・泉北ニュータウン住民や土業への PR

② ニュータウン大学の開催

泉北の新たな地域課題解決の担い手を増やす講座を開催する
助成先団体による取り組みの発表会と招待した登壇者を招いて開催する

スケジュール

開催頻度 隔月(オンラインとの併用)

規模

参加者数 10人

③ 堺市南区子ども応援プラットフォーム「ココ×カラ」事務局

プラットフォーム加盟団体を中心に団体情報を発信する。

今年度注力すること

- ・コロナ禍での団体運営のノウハウ共有
- ・地域内での連携ノウハウ共有

④ 事業評価の実施

※定款に定める事業(5)(6)(7)(8)

(2) 地域課題調査の実施

- ・泉北や周辺地域で活動する団体へのヒアリングを実施する
5月～7月 調査 / 8月～12月 コミュニティ基金サイトへの掲載
パートナー 大学生などインターンを公募して実施する
- ・泉北ニュータウンの子ども・保護者の実態を把握するためのアンケート調査
4月 連携可能校区への呼びかけ
6月 調査の実施
8月 速報発信、プレスリリースの発行

4. 管理業務

(1) 公益認定業務

公益認定法人としての運営を安定化する

今年度注力すること

コンプライアンス委員会や個人情報の保護などガバナンス体制の強化を行う

(2) 内部管理体制

寄付者管理・寄付証明書発行のクラウド化

公益法人に求められる健全な内部管理体制整備(規程類の整備および見直し)

マニュアル類の整備等

今年度注力すること

ガバナンス基盤を高める役職者研修やマニュアル類の整備

(3) 研修・他地域交流

今年度注力すること

・全国コミュニティ財団協会に引き続き加盟し、研修会に参加する

・47コロナ基金をはじめ全国ネットワークからの情報を得る

・災害時クラウドファンディングなど他地域へのノウハウ提供を行う

(4) 賛助会員

安定的な財源確保および本財団支援者の拡充のための会員の獲得

今年度注力すること

本格的な賛助会員募集をWEBと紙媒体でPRを行う

(5) 情報発信

ホームページ・SNS やアニュアル・レポートの内容充実

(6) 運営

中長期的視点を持った健全な財務運営の維持のために事業を改善するために理事会を毎月開催し議論を行う。

以上